

ZIP LINK II Type-S 組立説明書

この度は、当社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本説明書を組み立ての前に必ずお読みの上、正しくお取り扱い下さるようお願いいたします。
また、本書を大切に保管して下さい。

組み立て時のご注意！



注意

- 電動工具は使用しないで下さい。部品が破損します。また、保証の対象外となる場合があります。
 - 組み立てる際は、指先などを傷付けないよう、手袋等を着用して下さい。
 - 開封する際は、カッターナイフなどで本体を傷付けないよう十分ご注意下さい。
 - 工具類の取り扱いには、十分ご注意下さい。
 - 組み立ての際はお子さまに注意し、なるべく広い場所で行って下さい。
 - 組立説明書に従って組み立てて下さい。組み立て手順を間違えると、組み立たない場合があります。
 - 組み立て手順に従い、ネジ等で確実に留めて下さい。不十分ですと、製品が破損したりケガをする恐れがあります。
- ※ 部材や床などにキズが付かないよう、ダンボールや毛布等を敷いて組み立てて下さい。

使用時のご注意！



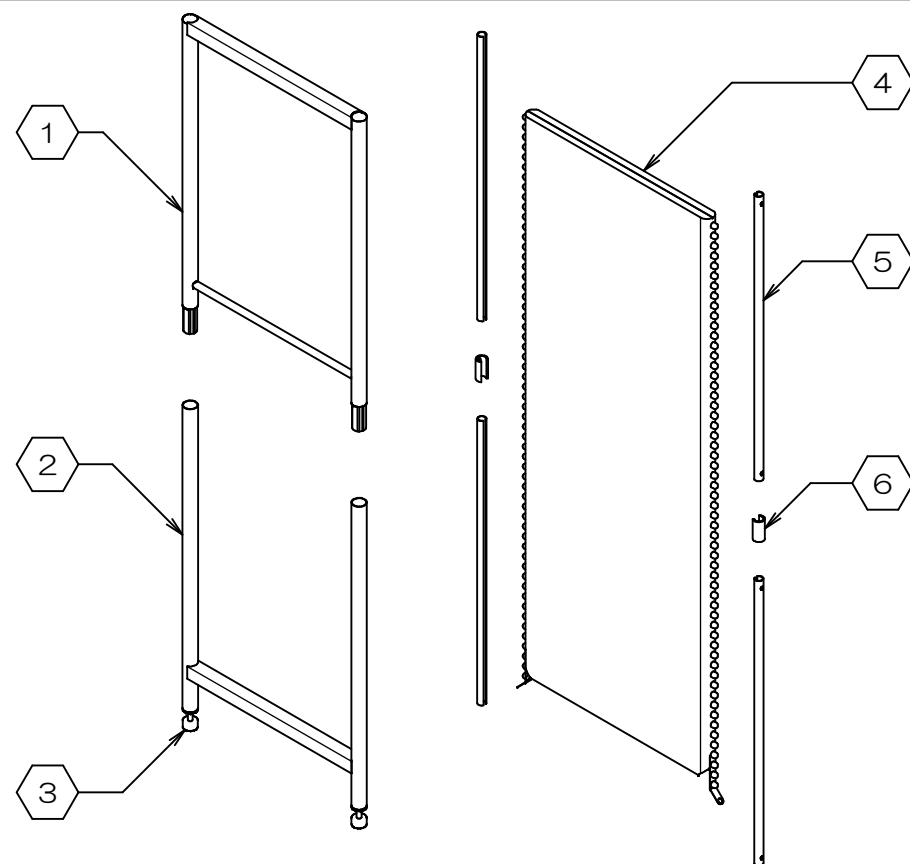
注意

- 室内専用ですので、屋外では絶対に使用しないで下さい。風などの影響により倒れる恐れがあります。
- 本製品は持ち運びを容易にするために、軽量に設計されています。強い風や接触によるスクリーンの転倒にご注意下さい。
- 直射日光や冷暖房器具の風を直接当てないで下さい。歪んだり張り布が変色したりすることがあります。
- 本製品は防水仕様ではありません。水に濡れた場合は放置せず、拭き取って下さい。また、高温多湿な場所でのご使用は、劣化を進める原因となります。
- 分解や改造をしないで下さい。破損したりケガをする恐れがあります。
- 異常を見つけたらそのまま使用せず、製造元へご連絡下さい。
- 張り布を洗濯する際は、色移り等の可能性がありますので、ネットに入れ単独で洗濯して下さい。
- アイロン、漂白剤は絶対に使用しないで下さい。
- 張り布を扱う際は、ファスナーを強く折り曲げないで下さい。破損する恐れがあります。
- 張り布は、生産ロットによる若干の色の差が出る場合があります。

※ 改善のため、予告無く仕様を変更することがあります。

組み立てる前に、各部品を確認して下さい。

項目	部品名称	数量
1	上フレーム	1
2	下フレーム	1
3	アジャスター (取付済み)	2
4	張り布	1
5	エンドパーツs	4
6	エンドパーツ・キャップ	2



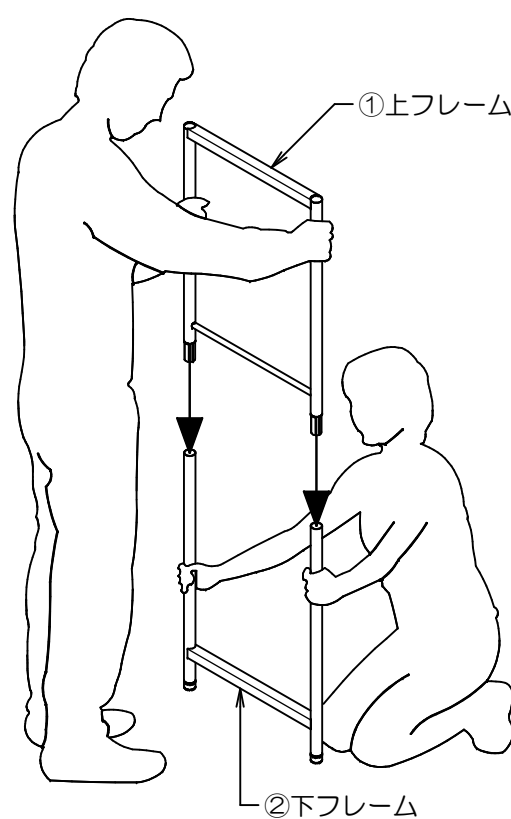
製品仕様 外形寸法：Y SNP120S＝幅121cm(ファスナー含まず)×奥行3cm×高121cm 重量：3.8kg
：Y SNP100S＝幅101cm(ファスナー含まず)×奥行3cm×高121cm 重量：3.4kg
：Y SNP 70S＝幅 71cm(ファスナー含まず)×奥行3cm×高121cm 重量：2.8kg
主要材料：スチール、ABS樹脂、ホリエステル 表面処理：パウダー塗装

B1325-R1

1. フレームの組み立て

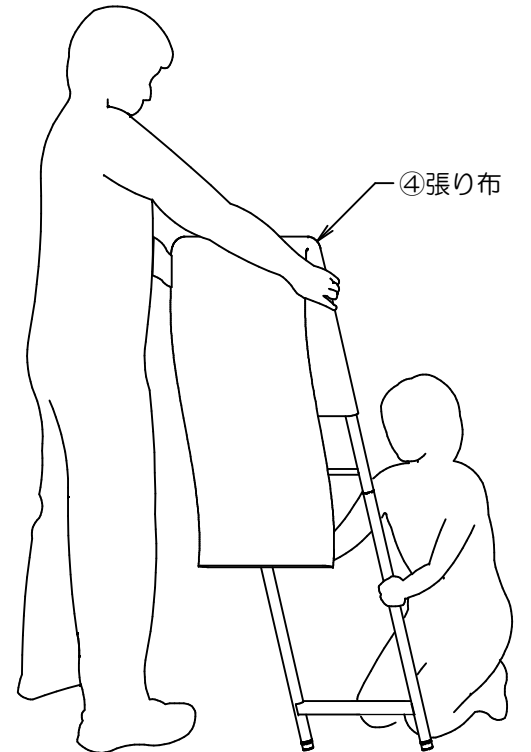
注) 作業は必ず2人以上で行って下さい！

- ②下フレームに、①上フレームを強く差し込みます。



2. 張り布の装着

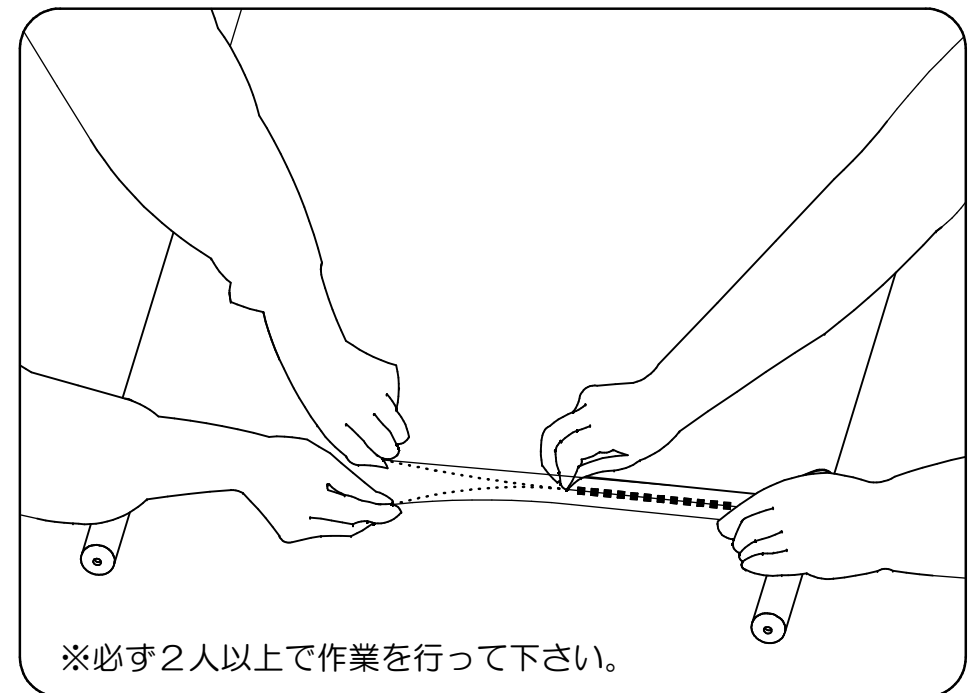
- 組み上がったフレームを1人が支え、もう1人が④張り布をかぶせていきます。その際 無理に引っ張らず、慎重に行って下さい。



3. ファスナーを閉じる

注) 部材や床・机上などにキズや汚れがつかないように、必ずダンボールや毛布等を敷いて作業を行って下さい。

- 下図を参考に、前項で張り布をかぶせた本体を、床や机の上等に置きます。
- 1人が布の両端を持ち、もう1人がファスナーを閉じていきます。その際 ファスナーに無理な力が掛からないよう、ゆっくりと静かに締めて下さい。



※必ず2人以上で作業を行って下さい。

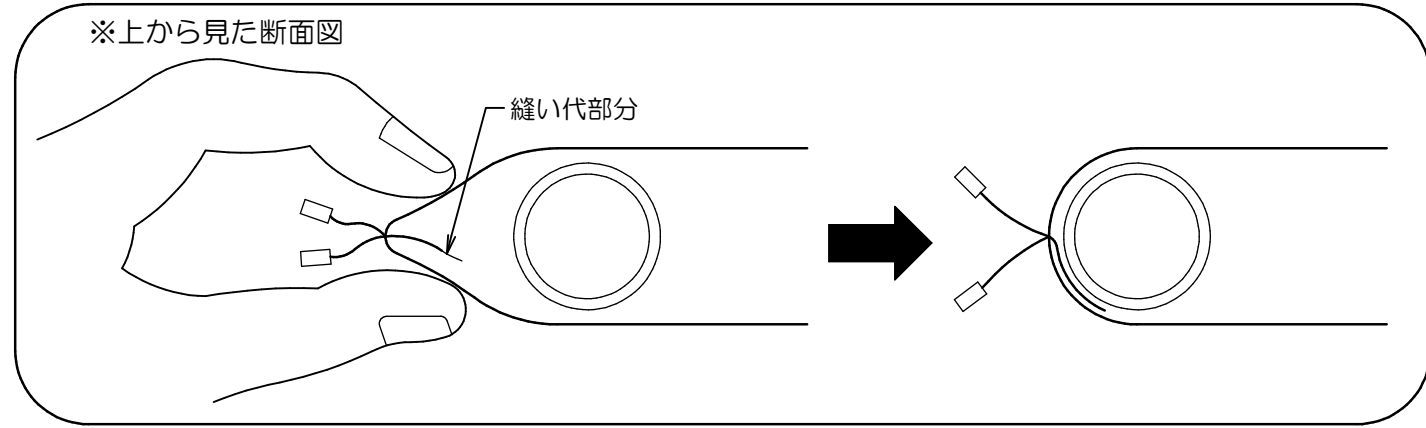
注) 製品の構造上、張り布のテンションはとてもきつく設計されております。
1人で作業を行うと、ファスナーを破損したり布を破く恐れがあります。
必ず2人以上で作業を行って下さい。

お問い合わせ先
製造元：株式会社 林製作所 072-960-0500
〒578-0925 東大阪市稲葉1-4-50
ホームページURL：https://www.hayashi-yumeita.com/

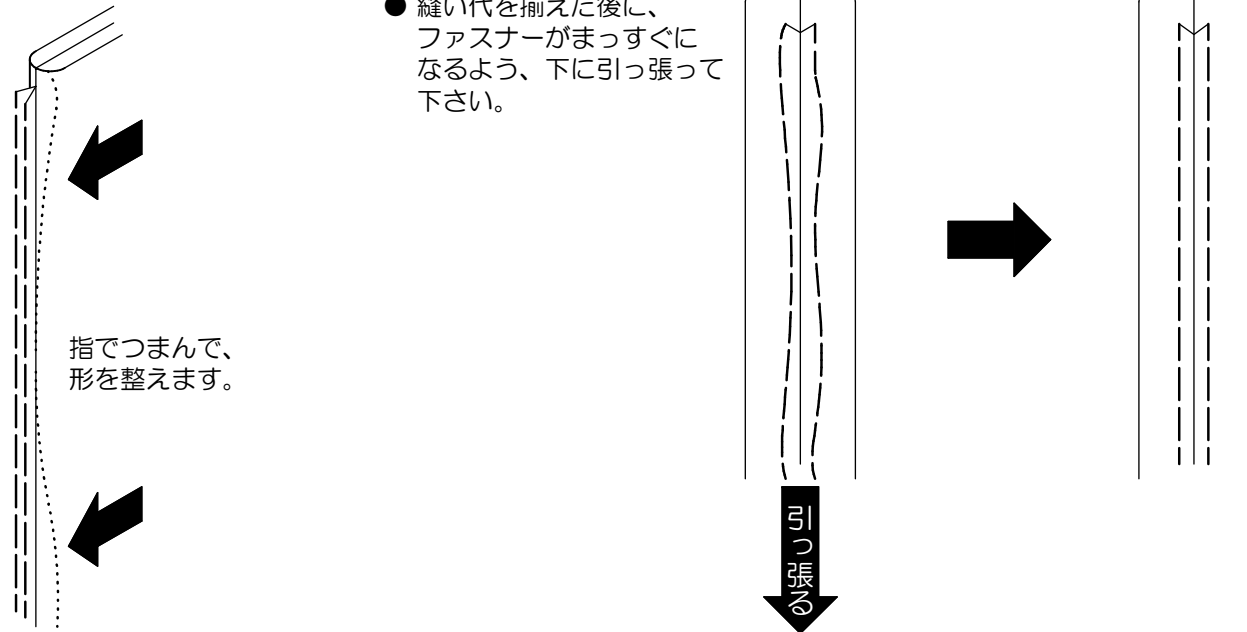
裏面へ続く

5. 縫い代を揃える（この作業は、縫い代が揃っていない場合に行ってください）

- 張り布の両サイドの内側にある縫い代部分を、下図を参考に、指でつまんで片側へ揃えて下さい。



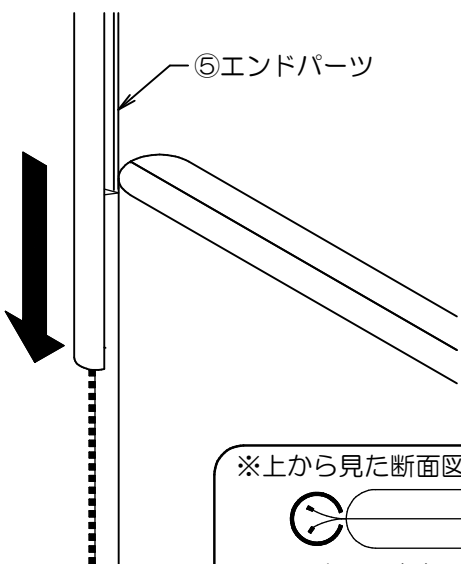
- 縫い代を揃えた後に、ファスナーがまっすぐになるよう、下に引っ張って下さい。



7. 端末の処理

- 連結する相手のない露出したファスナーには、エンドパーツをはめ込んで下さい。

- ・ ⑤エンドパーツを上側からスライドさせ、はめ込んで下さい。（片側2本ずつ）

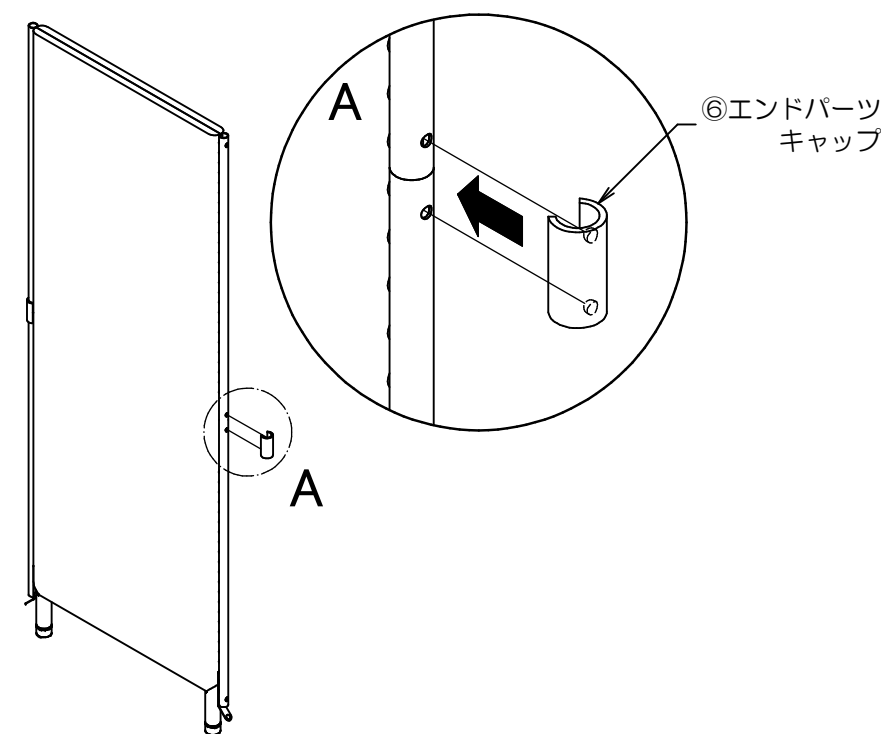


※上から見た断面図



ファスナー2本を、エンドパーツの内側に入れます。

- ・ 下図を参考に、⑥エンドパーツキャップをエンドパーツのすべてのつなぎ目にかぶせます。その際、エンドパーツにある穴に、エンドパーツキャップの凸部分が入るようにはめ込んで下さい。（図A参照）

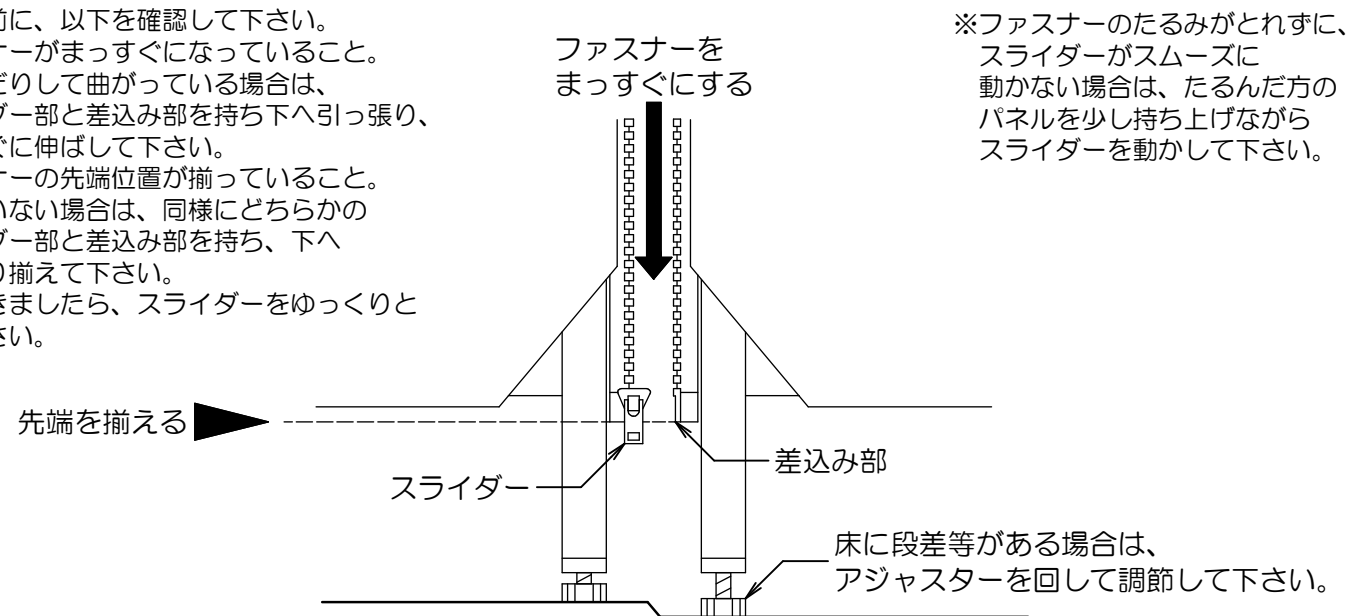


注) エンドパーツを取付けの際、端のファスナーは締めないで下さい。
1枚の張り布の、同じ端部にあるファスナーどうしを袋状に閉じることはできません。
スライダーは最下部まで下げて下さい。

6. 連結方法

本製品はファスナーにより、直線連結・T字連結・十字連結など、様々な連結ができます。
また、高さの違うパネルどうしも連結することができます。

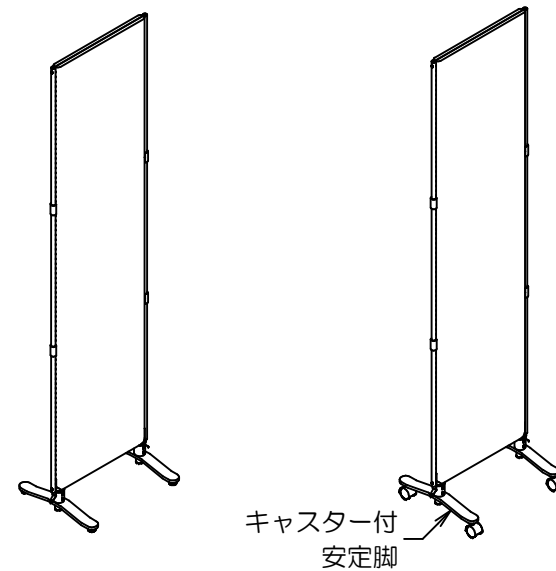
- 連結する前に、以下を確認して下さい。
 - ・ ファスナーがまっすぐになっていること。
たるんだりして曲がっている場合は、スライダー部と差込み部を持ち下へ引っ張り、まっすぐに伸ばして下さい。
 - ・ ファスナーの先端位置が揃っていること。
揃っていない場合は、同様にどちらかのスライダー部と差込み部を持ち、下へ引っ張り揃えて下さい。
- 確認ができましたら、スライダーをゆっくりと締めて下さい。



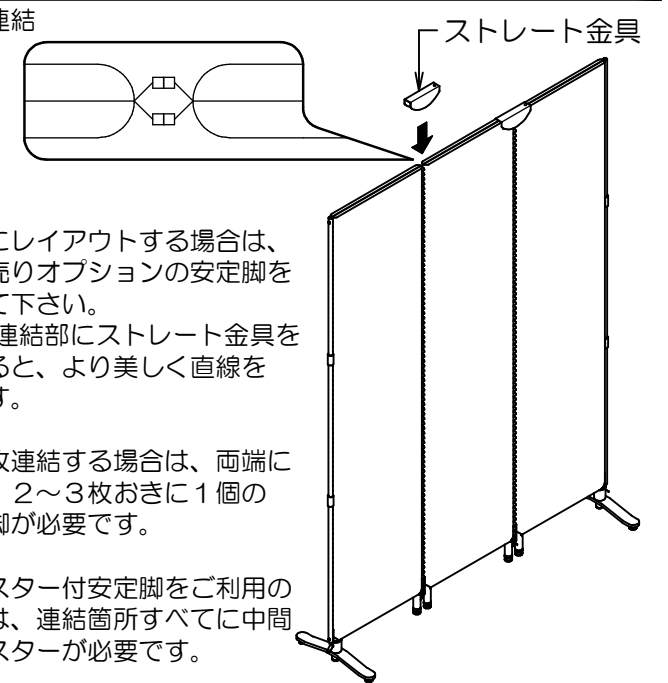
8. レイアウト例と注意事項

① 単品使用

単品で使用する場合は、必ず別売りオプションの安定脚、またはキャスター付安定脚をご使用下さい。



② 直線連結

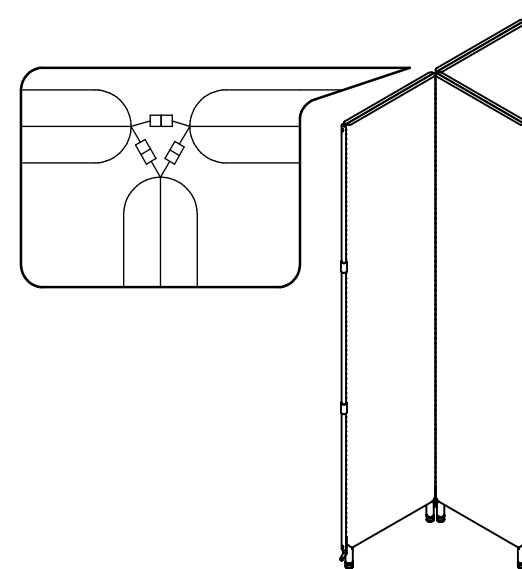


直線状にレイアウトする場合は、必ず別売りオプションの安定脚を使用して下さい。
その際 連結部にストレート金具を併用すると、より美しく直線を保てます。

※複数枚連結する場合は、両端に加え、2～3枚おきに1個の安定脚が必要です。

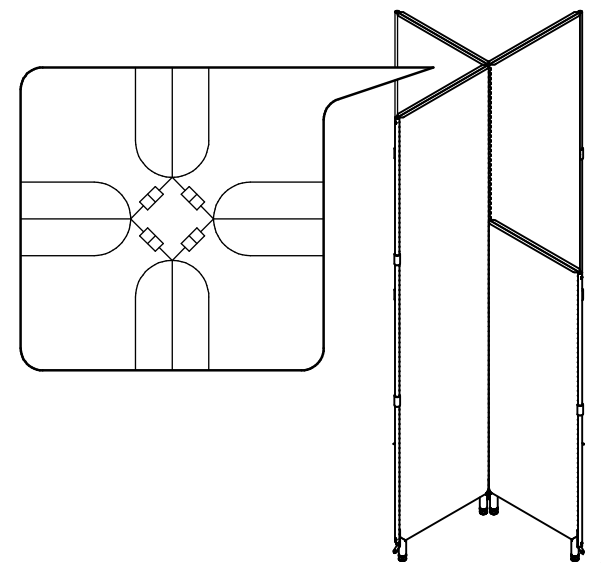
※キャスター付安定脚をご利用の場合は、連結箇所すべてに中間キャスターが必要です。

③ T字連結



④ 十字連結

このように、高さの違うパネル同士でも連結することができます。



※連結する際は、必ず2本のファスナーどうしを連結して下さい。
※レイアウト後、すべての設置面が浮かないように必ずアジャスターで調節して下さい。

Type-S